

中長期目標 (学校ビジョン)	社会の中でたくましく生きるための学力や豊かな人間性を育み、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を図る。	今年度の重点目標	1. 【学力の充実】 分かりやすい授業を工夫し学力の向上を図る。 2. 【豊かな人間性の育成】 ルール・マナーを身につけさせる。 3. 【進路指導の充実】 コミュニケーション能力の育成。 4. 【光り輝く学校づくり】 地域との連携を図る。
---------------------------	---	-----------------	--

年度当初					評価結果(10)月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1. 【学力の充実】 分かりやすい授業を工夫し学力の向上を図る。	○授業の充実	○教員は「分かりやすい授業」を目指して授業改善に取り組んでおり、生徒も大半が真面目に授業に取り組んでいる。 ○生徒の学力が多様で一斉指導だけでは不十分である。	○生徒の授業に取り組む意欲をさらに高める	○生徒による授業評価、授業公開などにより授業改善をさらに進める。	教材の工夫、適切な目標設定等により「分かりやすい授業」が行われている。生徒は概ね授業に意欲的に取り組んでいる。 個別指導、声かけ、成績不振者指導等により、個々の生徒の学習を支援する環境が整いつつある。 生徒は概ね良い態度で朝読書に取り組んでいる。	B	授業内容の精選や目標設定の適正化をさらに進める。 今後も、個々の生徒への学習支援を手厚くする。同時に、意欲ある生徒がより高度な目標に取り組むよう指導する。 読書の苦手な生徒に対して読書支援を行う。館外貸出も継続する。
	○個に応じた学習指導	○生徒の学力が多様で一斉指導だけでは不十分である。	○生徒一人ひとりの学習活動に対する満足度を高める	○個々の生徒の実態把握に努め、それに応じた学習内容や指導法を検討する。			
	○読書の推進	○読書の習慣のない生徒も見られる。	○本に親しむ生徒を育成する	○全校一斉の朝読書の時間を設ける。			
2. 【豊かな人間性の育成】 ルール・マナーを身につけさせる。	○環境教育の充実	○環境問題についての生徒の理解が不十分である。 ○頭髪・服装などのルールやマナーを守れない生徒もいる。	○環境活動の活発化	○環境 LHR を設けて環境問題を学習する。	生徒の環境に対する意識は以前より高まったが、ゴミの分別状況には課題がある。 多くの生徒が制服を正しく着用し指導の効果は上がっている。ズボン、ブラウスの着用等に問題のある生徒が一部見られる。	C	TEAS 委員会、環境 LHR 等を開催し、ゴミ分別について更に周知徹底を図る。 今後も全職員で指導を継続していく。指導基準、項目のさらなる明確化を図る。
	○制服の正しい着用	○制服を正しく着用する生徒の増加	○「改善指導カード」の趣旨を全職員で再確認し指導の徹底を図る。 ○指導の項目や基準を具体的に生徒に示す。				

評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
3.【進路指導の充実】コミュニケーション能力の育成。	○進路意識の高揚	○進路情報の提供、職場体験学習、個別指導などとおして進路意識の高揚に努めているが、3年生になっても進路目標が定まらない生徒も多い。	○生徒が早期に希望進路を決定する	○進路情報の提供や個別指導を充実させる。模試受験や講習参加の呼びかけを強化する。	進学か就職かの方向決定は早まってきた。従来より就職状況についての関心が高まり、正規採用を希望する生徒が増えている。	B	進学、就職に必要な講習への参加呼びかけを強める。 2年時に求人票を見る機会を設けるなどして進路意識を高める。
	○生徒の自己表現力、コミュニケーション能力の育成	○進学、就職の志望理由書、面接などにおいて自己表現が十分にできない生徒も見られる。	○面接、作文等で自己表現できる生徒を育成する	○授業や課題研究などで生徒の自己表現や発表の場面を増やしていく。 ○集団面接の導入、個別指導、挨拶運動など指導方法を工夫する。	「産業社会と人間」での発表、総合学習、面接指導、挨拶指導、集団フリートークなど様々な取り組みにより、生徒の自己表現力は向上している。		B
4.【光り輝く学校づくり】地域との連携を図る。	○本校の教育活動を地域へアピールする	○ホームページが、デザイン変更により見やすくなった。また、内容の更新を頻繁に行った。 ○地域との交流事業を積極的に行い地域の評価も高い。	○本校の教育活動の内容を地域で理解してもらい、本校の信頼性をさらに高める	○ホームページの充実に努めるなど情報発信の方法を工夫して、日野高校をアピールする。 ○校外実習、ボランティア活動、社会人講師の活用など地域との連携をさらに強化する。	ホームページを頻繁に更新し、学校行事、部活動の様子をスピーディに地域や保護者に発信している。 社会人講師の活用、校外施設実習、日野町図書館との連携、交流学習、日野高ショップ、部活動などを通じて地域との交流を推進している。	A	引き続き、ホームページ等を通じて学校の情報発信を推進する。 地域との交流活動の新たなかたちを模索し、魅力ある日野高校を地域にアピールできるよう努力する。

評価基準 A: 十分達成 B: 概ね達成 C: 変化の兆し D: まだ不十分 E: 方策の見直し